別紙

令和６年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立宮原小学校
（宮原中学校区）

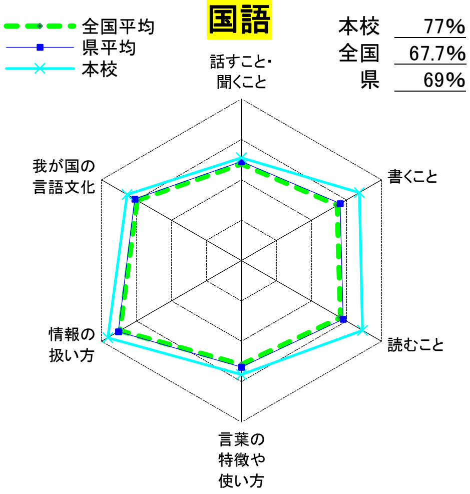
全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	＋６．０	＋５．０
令和８年度	－	－
令和７年度	－	－
令和６年度	＋９．３	＋８．６
令和５年度	－９．２	－５．５
令和４年度	－１．６	－１．２

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組　◎･･･各学校　◇･･･中学校区

国語

本校　77%
全国　67.7%
県　69%



重点課題

◎資料を活用するなどして，自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。（設問１二）【話すこと・聞くこと】
◇他者の考えを汲み取り，表現を工夫して自分の考えをまとめることに課題がある。

改善の方策

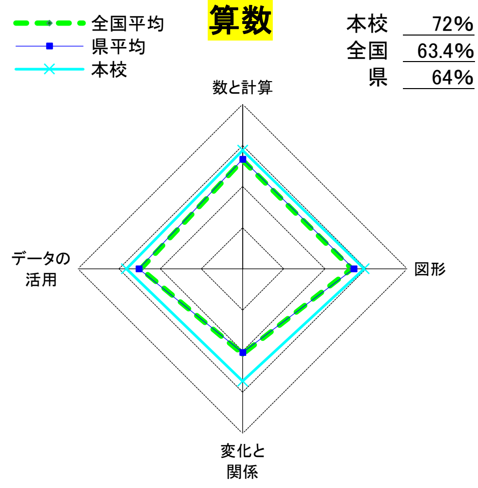
◎全学年のスキルタイムで記述問題に取り組む時間を設定し，書くことを軸にして表現を工夫する力をつける。
◎単元でつけなければならない力を明確にし，言語活動に生かす指導を充実させる。
◇表現を工夫した文章と工夫していない文章を比較させ，読み手の理解を促す表現の工夫について考えさせる。また，表現の工夫の仕方を具体化し，自分の考えをまとめるときに活用させることが重要である。

検証

◎◇全国学力（設問１二）の類似問題（第１～６学年，２月）
目標７５％→６７．５％

算数

本校　72%
全国　63.4%
県　64%



重点課題

◎立体の構成要素について理解し，直方体の見取り図をかいたり，五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述したりすることに課題がある。（設問３⑴）【図形】（設問３⑷）【図形】
◎除数が少数である場合の除法の計算に課題がある。（設問４⑴）【数と計算】
◇証明した事柄を用いて，新たな性質を見出すことができるかどうかをみることに課題がある【図形】

改善の方策

◎図形領域の単元において，構成要素の理解と定着を促すため，図，言葉，式を一致させたり，図，言葉，式を用いて説明したりする指導を充実させる。
◎単元でつけなければならない力を意識した適用題を準備し，解かせることで，学習内容の定着を図る。
◇身の回りの形から図形を捉え，図形を構成する要素を見いだし，日常生活を絡めながら，活用できる知識・技能を習得させることが重要である。

検証

◎◇全国学力（設問３⑴）（設問３⑷）（設問４⑴）の類似問題（第１～６学年，２月）目標７５％→７８％

【来年度に向けて】 国語では，重点課題を受け，スキルタイムで週１回「書く」プリントに取り組む時間を設定した。単元でつけた力を言語活動に生かす指導については，具体的な方法を研修する必要がある。また，国語，算数ともに，全学年で共通して以下のような取組の継続，改善，徹底を図る。

国語…〇条件に合わせて書く力を付けるためのプリントを行う。
〇校内で設定している教材研究の時間に，言語活動に関わる研修を行ったり，実際に有効な言語活動を考えたりする。
〇初読の問題プリントに週一回取り組み，読み取りのコツを指導する。

算数…〇適用問題に対応する力を付けるために，教科書の単元末にある「学びのまとめ」の問題を２回以上解くようにする。
〇活用問題のプリントに取り組み，解き方や表現の仕方を指導する。（「思考力・表現力を評価する算数テスト集」の活用）
〇基礎力を伸ばすためのプリント「計算マスター」「５分チャレンジ教科書プリント」や，キュビナによる基礎・基本の徹底を行う。